


2012年8月1日発行 NO.6

ちとせ会 ニュースレター

～山形県立保健医療大学作業療法学系同窓会～



はじめに

ちとせ会では、会員相互の情報交流を促進するために、ニュースレターを発刊しております。この第6号では、昨年催された第7回総会、ならびにそれに先立つ特別講演の様をお伝えいたします。今回は、新たに卒業生有志による施設紹介や研究発表を取り入れ、開催しました。

第7回山形県立保健医療大学作業療法学系同窓会「ちとせ会」総会 (平成23年10月22日開催)

1. 特別講演 浅倉次男先生「15年間の研究・活動・思い出など」

浅倉先生に、28年間の臨床経験と15年間の大学教員の経験についてご講演していただきました。先生の重症心身障害児に対する多くの活動を聞かせていただき、支援を行う姿勢に感銘を受け、対象者に関わる者としての心構えなどを学ばせていただく良い機会となりました。

2. 卒業生有志により事例紹介

今回は短大1期生の佐藤健一さんに、現在働いている介護老人保健施設フローラさいせいの施設紹介と「通所リハビリ継続利用者における要介護度の変化について」というテーマでまとめた研究を発表していただきました。

3. 総会

総会での審議結果

- ・ 2011年度会計報告、ならびに2012年度予算案が承認された。
- ・ 事業計画として、今後も定期的に総会を開いていくことが提案され、承認された。
- ・ 卒業生に記念品を贈ったことが報告され、当年度も同様にすることが承認された。
- ・ 同窓会10回目の節目の年に、参加者を増やすような予算の使い方や品物寄贈など提案された。今後検討していく。
- ・ 作業療法学科の同窓会ホームページの作成が提案され、今後検討していく。

4. 懇親会

ゆっくりと会食をしながら学生時代の思い出話をし、より交流が深まりました。また互いに近況報告などを行うことで、他施設の情報交換の場にもなったと思います。

参加者感想

第7回同窓会に参加した同窓生に書いていただいた感想文の一部をご紹介します。

- 現在重度認知症の高齢者を担当させて頂いておりますが、ターミナルの方も多く、生きた証を残せるようなかわりをするためにはどうしたらよいかなど、先生の活動を聞かせて頂き、勉強になりました。現在担当させて頂いている利用者様と想いを共有できるような関わりを日々考えながら、仕事をしていきたいと思っております。お話を聞かせて頂きありがとうございました。
- 県内の病院に就職しているので、このように大学の先生方や先輩方とお話させて頂けるのは、毎回ありがたいと思っております。様々なお話をしてまた明日からも業務を頑張ろうという気持ちになりました。今回佐藤さんに施設紹介や研究発表をして頂いて、他の施設の状況を知る機会はなかなかないので、本当に勉強になりましたし、データをまとめることで見えてくるものがあるなと感じました。ありがとうございました。
- 施設紹介の中では日頃提供しているプログラムの効果を研究という形で確認することの重要性を感じ、非常に参考になりました。浅倉先生の講演も、随所に参考にさせていただきたい内容があり、よい機会になりました。



編集後記

昨年の同窓会は、先生の特別講演に加え、卒業生有志による施設紹介などがあり、より充実した内容で行うことが出来たように思います。次回同窓会では、山形にいらっしゃる方、山形から離れていらっしゃる方も出来るだけ多くの方に参加していただきたいと思っております。また、同窓会の企画内容など何か希望があれば、ぜひ同窓会役員に声をかけていただければと思います。